

コミュニティ・スクール通信

東連携型小中一貫校
学校運営協議会

第5回学校運営協議会を開催しました！

保護者、地域の皆様には、日頃より東連携型小中一貫校の教育活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。3学期の子供たちは卒業式、修了式に向けて各学年のまとめを行い日々大切に過ごしています。

さて、第5回学校運営協議会を1月29日(木)藤岡第一小学校にて開催し、次の内容について話し合いを行いましたのでお知らせいたします。

今回の熟議内容

1 学力向上について

会議前に授業を参観し(3年・4年理科、5年算数、6年音楽)各委員が感想等を発表しました。

- 各学年とも落ち着きがあり、安定した授業が行われていた。
- 3年理科では電気を通す「物」を各種の金属を使用した実験により確認するという授業で、体験を重視した学習が進められているのがよい。
- 4年理科では水の温度上昇による変化を観察してそこからグラフを作成したが、タブレット上に各自のグラフを表示し自分との違いなどが分かるようにするなどの工夫を凝らした授業が行われていた。
- 5年算数では公式を使って三角形等の面積を求める計算を身に付けるための授業が行われていたが、理解の早い子が「ミニ先生」となって友達に教えるなどの光景が見られてよかった。
- 6年音楽の合唱では音楽発表会に向けた練習が行われていたが、6年生としての自覚と成長が感じられた。



2 東連携型小中一貫校の教育活動に関する調査(学校評価)結果について

12月に実施した調査結果と評価部による学校関係者評価について確認しました。一部紹介します。

- (1) 一貫校の教育活動について例年同様、保護者・児童生徒ともに高い評価を得ています。
- (2) 「高い知性」の評価では約90%の児童生徒が「授業がよく分かる」と回答しました。
- (3) 「豊かな心」の評価では各項目約90%を超えるほど高く、人権教育が根付いていることがうかがえます。
- (4) 「たくましい気力・体力」の評価では安全意識の向上が90%以上となるなど、児童生徒が安全な学校生活を送ろうとしていることがうかがえます。
- (5) その他の「連絡相談体制」では「体制づくり」について、教員の97%が「行っている」と回答しているのに対し、保護者の回答は76%、児童生徒の回答は65%と低く、教育相談体制や周知を積極的に行う必要があります。今後も保護者の皆様のご意見等を参考にしながら東連携型小中一貫校をよりよい学校とするため、学校・本協議会が保護者の皆様とともに取り組んでいきます。

3 いじめ問題解決に向けて

いじめ問題解決については、本協議会においてもいじめの有無にかかわらず毎年度取り組んでいるテーマのひとつです。4校児童・生徒会による「東人権サミット」での協議、更に「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」で話し合われたことを実践し、豊かな心・思いやりのある子の育成を目指して、地域一丸となって取り組んでいます。

本協議会では、これらの取組から、子供たちへのメッセージを次のように策定しました。

「一緒にいじめを生まない地域・学校をつくろう」
～私たち地域の大人はあなたの味方です。いつでも頼ってください。～

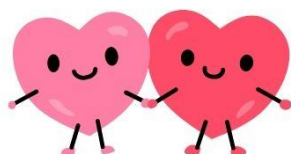
具体的なメッセージは裏面をご覧ください。

一緒に、いじめを生まない 地域・学校をつくろう



～これは、地域の大人から君たちへのメッセージです～

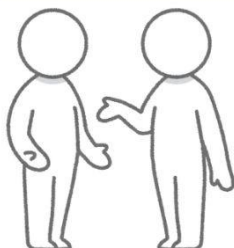
R7東一貫校学校運営協議会



自分と相手の違いを認め合うことで、
良い関係を築きましょう。



いらだちや怒りを感じたときに
「自己中心的になってないか」
振り返りましょう。



どんなときも相手の気持ちを想像して、
自分の気持ちを言葉で伝えましょう。



いじめを見つけたら、声をかけましょう。



いじめなどで苦しいときは、信頼できる
人に相談してください。

～私たち地域の大人はあなたの味方です、いつでも頼ってください～